資料３

能勢高校、豊中高校におけるＳＧＨの主な活動（平成 27 年度）

＜能勢高校＞

【課題研究のテーマ】

自立的な地域社会の構築や当事者と支援者の相互連携のあり方など、国際協力の現場での実践から、判断力と実践力を備えたグローバル・リーダーを育成する研究開発

◆スーパーグローバル基礎知識講座

・１年（「産業社会と人間」、「農業と環境」）

「モンゴルにおける貧困とストリートチルドレン」（大阪大学　今岡良子氏）等有識者 15 人からの講義。

・２年（「総合的な学習の時間」など）

「マレーシアにおける経済発展と自然破壊」（大阪教育大学　乾陽子氏）等有識者９人からの講義

◆スーパーグローバル重点分野講座（「スーパーグローバルスタディ」など）

「マレーシア『経済発展と自然破壊』～木炭製造の中で消えゆく森林～」（大阪教育大学　乾陽子氏）等有識者 21 人からの講義。

◆海外実態調査

マレーシアのペラ州での Malaysian Mokutan&Trading 社等でのフィールドワーク、周辺のマタン・マングローブ保護林での植林活動等に参加。また、クアラルンプール大学での英語によるプレゼンテーション、現地大学生とのワークショップの実施等。

＜豊中高校＞

【課題研究のテーマ】

イスラーム文化を通して、日本文化とのつながりから新たなビジネス・スタンダードを創造できる人材育成プログラムを開発

◆留学生等との交流

１年生とイスラーム圏出身者を含む大阪大学や関西学院大学の留学生及び豊中市在中の外国人との交流会の実施。

◆大学との連携

課題研究を行う上で、フェアトレードや地球環境問題に関して、関西学院大学　武田丈氏、巳波弘佳氏、山田好一氏、後藤裕加子氏　山根周氏、大森恵実氏、静岡大学　藤本穣彦氏　等有識者 7 名から講義及び指導・助言。

◆海外フィールドワーク

インドネシアでのフィールドワーク（手工業生産者協同組合「APIKRI」（アピクリ）及び小水力発電導入を中心としたコミュニティ形成の実態調査等）、国立イスラーム大学及び国立ガジャ・マダ大学での英語によるプレゼンテーション及びディスカッション。

◆国内フィールドワーク

フェアトレードタウンに認定された熊本県熊本市及び宮崎県五ヶ瀬自然エネルギー研究所の訪問。茨木モスクの訪問。